令和７年度　学校図書館教育全体計画

新潟市立赤塚中学校

教育目標

明るく　賢く　強く　やりぬく

赤塚中学校区の目指す子どもの姿

○目標を持ち、主体的に課題解決に向かう子ども
○地域から学び、共に伸びていく子ども
○相手を思いやり、協働する子ども
○保護者・地域への適時適切な情報発信と協力体制の構築

重点目標

○めあてをもって　最後までやりぬく生徒
○他を思いやり　励まし合って　互いに向上しようとする生徒

地域・保護者との連携

○保・小・中連携
○パートナーシップ事業の拡充
○コミュニティスクール準備
○保護者・地域への適時適切な情報発信と協力体制の構築

図書館教育の指導の重点

（１）進んで読書をし、自己を見つめる態度を養う
（２）図書館を積極的に利用し、情報収集の技術や態度を養う
（３）学校図書館活用推進校の指定にもとづき、自校の実態や他校の実践を踏まえて、図書館教育の見直しを図る

具体的な方策

（１）教科部や総合的な学習の時間と連携し、計画的な図書館の利用指導を行う
（２）全校朝読書の実施
（３）図書の充実と整理
（４）ＰＲ活動の充実
（５）小学校との連携
（６）生徒会　情報発信委員会による生徒の主体的な活動の推進
（７）「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての３つの機能の充実

総合的な学習の時間	道徳・学活	各教科	委員会活動	家庭・地域における連携
・図書資料の上手な活用法と活用の利点についての知識・技能を身につけ、調べ方や学習の手立てを学ぶ。 ・目的に応じた手段を選択し、情報を収集する力、更に課題を見つけた時により深く探究学習する力を育てる。	・自習等の時間や朝読書可能な学年は、読書に親しむ態度・道徳的心情・豊かな感性を育てる。 ・道徳単元内容に応じた本を図書館の特設ブースで、多種多様な見方や考え方があることを知り、互いに認め合い尊重する態度を養う。	・学校図書館活用年間計画を活用し、各教科に必要な本や新聞（新潟日報教育モア）を活用する。 ・司書と教職員が連携し、授業や学習環境がより一層充実するように、授業準備の支援・サポートに努める。	・読書週間で司書・情報発信委員会主催の企画で、図書館への興味関心を促し、読書に親しむ雰囲気作りや全校生徒に向けた図書館アプローチを行う。 ・情報発信委員推し本紹介コーナを設けることで、本との出会いの場を設定する。	司書発行「赤中図書館たより」や情報発信委員会発行「Library」の便りを通して、図書館の様子や読書の良さを知らせ、家庭での読書習慣の定着を促すことができるようにする。